

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/> )

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html> )

マイライブラリー:0239

(注)本稿は 2012 年 9 月 10 日から 14 日まで 3 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2012.9.14  
前田 高行

## MENA(中東・北アフリカ)諸国の人口・平均寿命(世界人口白書2011年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その2)

目次	頁
1. MENA 各国の人口	2
2. MENA 各国の人口増加率と合計特殊出生率	
(1)人口増加率	3
(2)合計特殊出生率	3
3. 主要国の平均寿命	4

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 カ国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第2回のランキングは国連人口基金(UNFPA)発行の「世界人口白書2011」のデータにより MENA

各国の人口・平均寿命について比較しました。

(参考)国連人口基金東京事務所ホームページ「世界人口白書」:

<http://www.unfpa.or.jp/publications/index.php?eid=00031>

(MENA で人口が突出して多いエジプト、イラン、トルコ！)

## **1. MENA 各国の人口**

(表[http://members3.jcom.home.ne.jp/areha\\_kazuya/2-T01.pdf](http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/2-T01.pdf)参照)

(図[http://members3.jcom.home.ne.jp/areha\\_kazuya/2-G01.pdf](http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/2-G01.pdf)参照)

MENA 諸国の中で最も人口が多いのはエジプトの 8,250 万人である。これに次ぐのがイランの 7,480 万人、トルコの 7,360 万人であり、MENA ではこれら 3 カ国の人口が突出している。第 4 位はアルジェリアであり同国の人口は 3,600 万人である。この他人口が 3 千万人台の国はイラク(3,270 万人)及びモロッコ(3,230 万人)である。これら 6 カ国に続くのがサウジアラビア(2,810 万人)、イエメン(2,480 万人)、シリア(2,080 万人)、チュニジア(1,060 万人)であり、以上 10 カ国が人口 1 千万人以上の国である。

MENA 第 11 位の国は UAE であり、同国の人口は 790 万人とされている。但しこれは外国人労働者を含んだ数値である。UAE は正確な外国人の人数を公表していないが、同国の人口の 8 割近くは外国人で占められ、その多くはインド、パキスタン、東南アジア諸国からの男性出稼ぎ労働者である。このことは総人口 790 万人の内訳が男性 550 万人、女性 240 万人と男女の比率が極めて不均衡であることから解る。このことはクウェイト、カタールなど同じ湾岸産油国についても言えることである(上述のサウジアラビアの場合も男性 1,550 万人、女性 1,260 万人)。

12 位以下の国とその人口は次のとおりである。

イスラエル(760 万人)、リビア(640 万人)、ヨルダン(630 万人)、レバノン(430 万人)、パレスチナ自治政府(420 万人)、クウェイト(280 万人)、オマーン(280 万人)、カタール(190 万人)、バハレーン(130 万人)。

カタールは UAE と同様外国人が人口の 8 割以上を占めており本来の自国民は 30 万人程度と言われ実質的には MENA で最も人口が少ない国である。

## **2. MENA 各国の人口増加率と合計特殊出生率**

(図[http://members3.jcom.home.ne.jp/areha\\_kazuya/2-G02.pdf](http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/2-G02.pdf) 参照)

本項では MENA 各国の 2010 年から 2015 年までの年平均人口増加率及び合計特殊出生率について国毎に比較する。合計特殊出生率とは人口統計上の指標で、女性が出産可能な年齢を 15 歳から 49 歳までと規定し、それぞれの出生率を出し、足し合わせることで、人口構成の偏りを排除し、一人の女性が一生に産む子供の平均数を求めたものである。

(人口増加率が最も高いイラク！)

## (1)人口増加率

MENA 諸国の中で人口増加率が最も高いのはイラクの 3.1%であり、これに次ぐのがイエメンの 3.0%である。増加率が 3%を超えるのはこの 2 カ国だけであり、2%台にはカタール(2.9%)、パレスチナ(2.8%)、クウェイト(2.4%)、UAE(2.2%)、サウジアラビア(2.1%)及びバハレーン(2.1%)の 6 カ国が入っている。このうちパレスチナを除く 5 カ国は GCC を構成する湾岸産油国である。

増加率が 1%台の国は上から順にヨルダン(1.9%)、オマーン(1.9%)、エジプト(1.7%)、シリア(1.7%)、イスラエル(1.7%)、アルジェリア(1.4%)、トルコ(1.1%)、イラン(1.0%)、モロッコ(1.0%)、チュニジア(1.0%)であり、1%未満の国はリビア(0.8%)及びレバノン(0.7%)の 2 カ国である。

全世界平均の人口増加率は 1.1%であり、MENA の大半の国は世界平均を上回っている。MENA は人口増加率の高い地域と言えよう。因みに日本はマイナス 0.1%、米国 0.9%、中国 0.4%であり、日本及び中国の出生率は MENA のいずれの国よりも低い値を示している。

GCC6 カ国(サウジアラビア、UAE、クウェイト、オマーン、カタール及びバハレーン)は MENA 諸国の中でも特に人口増加率が高い。但しこのうち UAE、クウェイト、カタールの 3 カ国だけは次項の特殊出生率で見ると人口増加率の値が合計特殊出生率よりも高い。実は日本、中国を含め世界全体で見ても人口増加率が合計特殊出生率より低いのが普通であり、UAE、クウェイト、カタールの例は極めて特殊なのである。前章の人口数で説明したようにこれら 3 カ国は自国民が少なく、外国人が圧倒的多数を占めている。このことから 3 カ国の人口増加率が高いのは人口の自然増よりも社会増(即ち外国からの人口流入が激しい)によるものであることがわかる。

(アラブ人は子沢山！)

## (2)合計特殊出生率

冒頭に説明した通り合計特殊出生率とは 15 歳から 49 歳までの女性が一生に産む子供の平均人数である。一般にアラブ諸国の出生率は高く子沢山の家庭が少ない。

MENA 諸国の中で合計特殊出生率が最も高いのはイエメンの 4.9 人、イラクの 4.5 人、パレスチナの 4.3 人であり、この 3 カ国は他の MENA 各国に比べても際立って高く、世界平均 2.5 人のほぼ 2 倍近い。因みに日本は 1.4 人であり、一人っ子政策が浸透している中国では 1.6 人といずれも 2 人を下回っている(米国は 2.1 人)。

MENA の多くは 2 人台であり世界平均(2.5 人)を上回る 2 人台後半の国はイスラエル、エジプト、サウジアラビアなどであり、また世界平均を下回る 2 人台前半の国にはトルコ、クウェイト、リビア等がある。中国或いは日本と同様に合計特殊出生率が 1 人台の国はイラン、UAE、チュニジア、レバノンの 4 カ国に留まる。

合計特殊出生率は一般に開発途上国が高く日米のような先進国は低いが、MENA の中では先進国にランクされるイスラエルは 2.9 人と比較的高い。これは同国ではアラブ系の出生率が高いことに

加え、宗教的な理由で超正統派ユダヤ人(通称ハレディム)の出生率が高いためと考えられる。

(アラブ諸国の平均寿命は男 69 歳、女 73 歳！)

### **3. 主要国の平均寿命**

([図http://members3.jcom.home.ne.jp/areha\\_kazuya/2-G03.pdf](http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/2-G03.pdf) 参照)

MENA で平均寿命が男女とも最も高い国はイスラエルであり、男性 80 歳、女性 84 歳と女性の方が 4 歳高い。日本の平均寿命(男性 80 歳、女性 87 歳)と比較すると、イスラエルは男性が同じであるが、女性は 3 歳短い。

この他 MENA の主な国については、UAE が男性 76 歳、女性 78 歳である。UAE は人口の 8 割近くをインドなどからの外国人労働者が占めているが、平均寿命はこれら一時居住の外国人を対象とはしていないと考えられる。地域の人口大国であるトルコ、エジプト及びイランの平均寿命はトルコは男性 72 歳、女性 77 歳、エジプトは男性 72 歳、女性 76 歳、イラン男性 72 歳、女性 75 歳でありほぼ横並びである。

イラクは男性 68 歳、女性 73 歳で世界の平均値に近い。因みに世界の平均寿命は男性 68 歳、女性 72 歳であり、アラブ諸国の平均寿命は世界平均より男女ともそれぞれ 1 歳高く、男性 69 歳、女性 73 歳である。MENA 諸国で平均寿命が最も低いのはイエメンで同国の男性の平均寿命は 65 歳、女性は 68 歳であるが、MENA の中で男女とも平均寿命が 70 歳を下回っているのはイエメンだけである。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行      〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp